

## 多久市の特徴や誇れるもの

- 多久市は、佐賀県のほぼ中央に位置し、四方を山に囲まれた盆地で、緑豊かなところです。
- 多久市は、学問の神様として孔子さまを祀る「<sup>まつ</sup>多久<sup>せいびょう</sup>聖廟」があり、国の重要文化財に指定されています。
- 「多久の雀は論語をさえずる」と言われるほど、論語教育が根付いた歴史と文化があります。
- 「<sup>たんきゆう</sup>丹邱の里」「文教の地」として、全国発信する多久市です。



教育委員会所在地： 多久市北多久町大字小侍7-1  
 連絡先： 学校教育課 (0952)75-2227  
 学校数：義務教育学校3校(中央校・東部校・西溪校)



## 伝統文化の継承 【東原彦舎西溪校】

学問の象徴・孔子を祀る壮麗な「多久聖廟」で行われる「<sup>せきさい</sup>釈菜」は、春と秋の年2回開かれ、1708年の創建以来受け継がれる由緒ある祭典です。



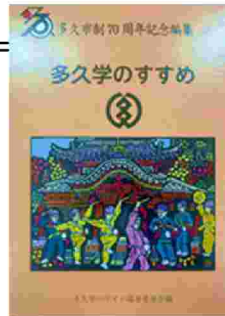
「釈菜」では、「参列生徒の唱歌」「<sup>ようこ</sup>釈菜の舞」「腰鼓」を西溪校の児童生徒が披露し、伝統文化の継承を担います。

## 「多久学」そして、「論語」に学ぶ教育

多久市教育委員会では、多久市版の教育関係資料を作成し、多久市の歴史と郷土に関する教育を実践し、ふるさと多久を愛する心を育む教育を展開しています。

====【多久学の取組】====

- 「多久学」を教育課程の中に位置付けて、総合的な学習の時間を中心に、校外学習・体験学習を展開します。
- 多久市の郷土学習資料「多久学のすすめ(改訂版)」を使い、郷土の歴史・文化・伝統等を学び、郷土愛を育みます。



====【論語カルタの取組】====

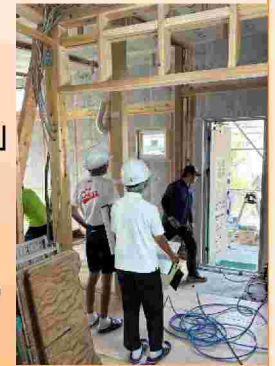
- 「多久聖廟」に「孔子」さまが祀られ、その教えに「論語」があり、「論語カルタ(百枚)」を使った教育を展開しています。
- 各学校は、小学1年生から論語の<sup>あんしゅう</sup>暗誦を取り入れ、
  - ・校内論語カルタ大会開催
  - ・論語カルタ通りの設置(拡大版掲示)
  - ・論語の教材化(道徳教育)
 等を実践します。
- 湯島聖堂漢文検定の初級(4年)と中級(6年)を受検し、論語への親しみを広げています。



## 地域とともに、未来の自分へ

### 【東原彦舎中央校】

総合的な学習の時間を中心に、「キャリア教育」に取り組んでいます。多久を拠点として取り組まれている様々な事業所のご協力を得ながら、職場体験を8年生で実施しています。地域を愛する皆さんの取組に触れ、自己実現を目指します。



## 体験！ 地域の特産物 【東原彦舎東部校】

多久市には、びわ、そば、米、栗など地域には様々な特産物があります。

びわの袋がけや収穫、そばの種まきやそば狩り、栗拾いなど、地域の方々のご協力をいただいで、貴重な体験をすることができています。コミュニティ・スクールとしての活動も広がっています。

